

# 箱根写真美術館 NEWS

## 所蔵コレクション展 山田應水 山岳と風景

会期：2021年4月21日（水）～7月19日（月祝）10:00-17:00（最終入場）

会場：箱根写真美術館 1F展示室



立山2  
c.1920-1930 大正9年～昭和5年頃



富士 御坂峠道



晩年の山田應水 箱根小涌園にて

### 【展覧会概要】

山田應水は大正から昭和初期にかけて活動を続けた風景写真家です。箱根写真美術館は晩年の應水が過ごした自宅の庭部分に、孫であり写真家の遠藤桂により建設され、2002年に私設美術館として應水の作品や資料を収集保存しております。

本展では、箱根写真美術館コレクションより、大正～昭和初期の日本に国立公園が誕生する頃、全国の景勝地を撮影した作品および資料を展示いたします。

※展示作品は原板（紙焼きプリント、乾板）を複写しデジタルプリントしたものです。

### 【山田應水 略歴】

山田應水（本名：山田治三郎、1880～1964）

岐阜県岐阜市に生まれる。

1891年(明24) 10月28日6時38分50秒に発生した濃尾地震(M8.0)により両親を亡くし、慈善事業家、石井十次(1865-1914)による岡山孤児院で青年期までを過ごす。

上京し、横浜の貿易商「大和商会」に勤務。

大正5年夏に初めて日本アルプスの白馬岳に登り、審美的崇高な山岳美に深甚な魅力を感じて以来、日本アルプスの山々を始め、他の高山や高原、溪谷、湖畔を跋涉しカメラに収めて趣味としていた。

周囲のすすめで、大正13年夏、日本橋丸善にて初個展「山岳写真展覧会」を開催する。

以降、鉄道省や各県当局、国立公園協会や観光連盟、交通機関会社等の囑託を受けての撮影等、数千枚にのぼる風景写真を所持し、風景専門の写真社として「風光社」を東京千代田区に設立、多数の誌面にて写真を掲載されるほか、全国のデパートで風景写真展覧会を数多く開催。

昭和11年『岡田紅陽・山田應水 国立公園写真集』（国立公園協会発行）が出版。

昭和22年 箱根小涌園の創業者小川栄一の依頼を受けて、箱根小涌園写真部に従事することとなり、東京と箱根を往復する生活が始まる。

昭和35年に強羅に居を構え、箱根の山野草を育てながら箱根や富士の撮影を続ける。

昭和39年夏、京都へ撮影旅行へ出掛けたのち体調を崩し、同年10月、自宅にて没（享年84歳）。

【リリース発行元・問合せ先】箱根写真美術館 担当：遠藤詠子 <http://www.hmop.com>  
神奈川県足柄下郡箱根町強羅1300-432 TEL/FAX 0460-82-2717 [info@hmop.com](mailto:info@hmop.com)